教科名	国語	科目	国語演習	週授業時間	２時間

１．教科書および副教材・参考書

教科書：「新編新しい国語３」（東京書籍）

副教材：「教科書準拠ワーク　よくわかる国語の学習３〔東京書籍版〕」（明治図書）

：「読みトレ」（教育出版株式会社）

：「新版古典文法習得のための用言活用ノート」

：「つまずかない文法の学習」（新学社）※１年次に配布済

：「国語便覧　千葉県版」（浜島書店）　※１年次に配布済

２．授業の目標および内容

「話す・聞く」「書く」を中心とした様々な言語活動を行い、人との関わりの中で伝え合う力を高めます。

３．試験について

	１学期		２学期		３学期
定期試験	一次　５月	二次　７月	一次　10 月	二次　12 月	期末　３月

内容・難易度について

〇定期試験：教科書・プリントなどの授業範囲内で、問題を作成します。

「国語」＋「国語演習」合わせて 100 点満点で作成します。

（それぞれの配点は取り扱った範囲により変動します。）

４．課題・補習について

必要に応じて課題を出したり、補習をおこなったりします。

５．評価の視点

定期試験を元に、学力試験、小テスト、ノート提出などを参考に平常点として、加点または減点して評価をします。

授業計画

学期	単　　元	学　習　内　容	備　考
1	口語文法 文法の復習 敬語 ビブリオバトル	 口語文法の復習をする。 敬語の適切な用法を学ぶ。 図書室を利用し、１学期中に各クラスのチャンプ本を決め、文化祭でチャンプ大会を実施できるように指導する。	 口語文法、敬語に関する小テストを行う。 図書室にて実施。

2	読解演習 書写	多様な文章を読解し、読み取る力を養っていく。 ２年次に引き続き、週に１時間書道室において本格的に毛筆を使い、行書などを学習する。	 書道室にて実施。
3	文語文法 動詞	文語文法を学び、動詞を中心に用言の活用ができるようにする。古典読解の基礎となる用言を学び、反復を重ねて定着を目標にする。 文中に出てくる基礎的な古文単語を学び、高校古典に繋げる。	文語文法、文中に出てくる古文単語に関する小テストを実施。